



東京ヤクルトスワローズ

スラッガーを筆頭に補強ポイントを埋める指名！
秋に成長した驚きの2位3位の指名は吉と出るか

プラスポイント

清宮幸太郎の抽選は外したが、村上宗隆（九州学院高）の交渉権を抽選で獲得。中村奨成の陰に隠れているが、村上も高校生屈指の攻撃型捕手だ。ただ、昨年も高校生捕手の古賀優大を指名し、今年の7位で松本直樹（西濃運輸）を



驚きの2位指名・大下佑馬だったが、ドラフト後の日本選手権の好投で納得したファンも

指名している。そこから考えると村上は野手にコンバートされる可能性が高いのではないだろうか。

村上はクセのない打撃フォームでフォロースルーを大きく取れることが最大の特長。脇を締め、腕を畳んで打つこともできる。打てる捕手は12球団どこでもほしいはずだが、球団の育成プランにはどんな将来像が描かれているのだろうか。いずれにせよ、補強ポイントのひとつだったスラッガー候補を補強できたことはプラスだ。

また、全体的に見ると、ポジションや年齢のばらつきがなく、補強ポイントを押さえている。うまくまとめた指名だった。

マイナスポイント

指名された選手に罪はないが、

補強ポイントおさらい

- 1 スラッガー
- 2 即戦力先発
- 3 打力重視の野手
- 4 パワー型リリーフ
- 5 高校生野手

ドラフト採点

60点

- 1 村上 宗隆 (捕手・九州学院高)
強打者、捕手で育てるか？ 野手で育てるか？
- 2 大下 佑馬 (投手・三菱重工広島)
典型的な先発型。1年目から結果がほしい
- 3 蔵本 治孝 (投手・岡山商科大)
秋に一段と成長した勢いをプロ入り後も！
- 4 塩見 泰隆 (外野手・JX-ENEOS)
- 5 金久保 優斗 (投手・東海大市原望洋高)
- 6 宮本 文 (内野手・奈良学園大)
- 7 松本 直樹 (捕手・西濃運輸)
- 8 沼田 拓巳 (投手・石川ミリオンスターズ)

ウェーバー順を生かした指名に見えない。もう少し後ろの順位でも指名できたのでは？ という選手もいた。ほしい選手は指名できたのかもしれないが、球団ワースト記録を更新する96敗を喫し、最下位となったにも関わらず、チームを生まれ変えよう、巻き返そうといったメッセージがあまり伝わってこなかったことも残念だ。

即戦力

全体的に戦力が足りず、新戦力が1人でも多く出てきてほしい。

2位の大下佑馬(三菱重工広島)はストリートと5種類の変化球を巧みに操る右腕。クセのないフォームで制球力も悪くない。特筆すべき決め球こそないが、ゲームを作る能力に長けている。1軍デビューはリリーフの可能性もあるが、先発ローテーション入りも果たせば、新人王争いのダークホース的存在になれるだろう。

3位の蔵本治孝(岡山商科大)は大学から投手に転向した。2年時に手術し、リハビリに1年要したが、そこから近藤弘樹(楽天)1